会場への交通アクセス



ホール最寄り駅からのご案内

- 東京メトロ東西線・日比谷線「茅場町」駅 11出口 直結
- 東京メトロ銀座線・東西線、都営浅草線「日本橋」駅 D2出口 徒歩2分
- JR線、東京メトロ丸の内線「東京」駅 八重洲北口 徒歩12分

参加申込

オンライン参加は、事前申込制とさせていただきます。
参加をご希望される方は、総務省ウェブサイトより参加申込フォームに
アクセスし、必要事項をご入力ください。

(総務省HP) https://www.soumu.go.jp/main_sosiki/jichi_gyousei/bunken/chihogikai_2026.html

ご視聴にあたって

- 参加申込後、ご入力いただいたメールアドレス宛てに、本シンポジウムの運営業務受託事業者（株式会社オーエムシー）よりライブ配信URLを送付いたしますので、当日は当該URLをクリックし、ご視聴ください。
- ご視聴環境は、視聴者の皆様においてご準備いただくようお願いいたします。

シンポジウムのお問い合わせ先

総務省自治行政局行政課
〒100-8926 東京都千代田区霞が関2-1-2　TEL：03-5253-5510

地方議会活性化シンポジウム2026

変わりゆく社会と地方議会
～AI活用と議員活動の新たな挑戦～



開催日 令和8年11月18日(水)
14:00～17:00

会場 KABUTO ONE HALL&CONFERENCE
（東京都中央区日本橋兜町7-1 4F）
＋オンライン配信

主催：総務省　共催：全国都道府県議会議長会、全国市議会議長会、全国町村議会議長会

地方議会活性化シンポジウム　2026のご案内

開催趣旨

令和６年１１月より、人口減少下において、地域の担い手を含めた資源の不足や偏在が深刻化する中で、自治体の行財政のあり方を持続可能なものにしていくため、具体的な課題の整理及び対応の方策について幅広く議論を行うことを目的に、「持続可能な地方行財政のあり方に関する研究会」を総務省において開催し、深刻化する地方議会議員のなり手不足についても議論されたところです。研究会の報告書では、多様な民意を集約し、広い見地から議論を行う議会の役割の重要性が指摘されるとともに、各議会において行われてきた多様な人材が議会に参画しやすくなるための環境整備や住民が議会に関心を持つようにするための取組の更なる必要性、積極的なデジタル技術の活用についても指摘されています。

また、総務省では、議会への多様な人材の参画など、社会の変化を踏まえたテーマ設定のもと、各議会における取組事例の紹介や地方議会の将来像について議論等を行う「地方議会活性化シンポジウム」を平成２５年度から毎年開催しています。

近年、議会を取り巻く環境が変化している中で、急速に発展しているデジタル技術、特にAIの活用や、地域における多様な主体との対話や発信など議場外における役割の重要性が一層高まっているところです。そこで、これらの取組に向けた考え方や各議会等における事例を共有するとともに、議会関係者以外を含めた意見交換を幅広く行うため、本シンポジウムを開催します。

プログラム

14:00～14:05 開会・総務省挨拶

14:05～15:25 パネルディスカッション1

テーマ　地方議会におけるAIとの付き合い方 ～議員によるAI活用の可能性～

コーディネーター	大屋　雄裕 氏	慶應義塾大学法学部教授
パネリスト（五十音順）	茨木　雄太 氏	アンドドット株式会社代表取締役
	大竹　清敬 氏	情報通信研究機構 研究センター長
	沖　優子 氏	奈良県王寺町議会議員
	鈴木　綾子 氏	江東区議会議員
	道端　俊彦 氏	大阪府議会議員

15:25～15:40 休憩

15:40～17:00 パネルディスカッション2

テーマ　議員活動を考える ～内から外へ～

コーディネーター	田中　里沙 氏	事業構想大学院大学学長
パネリスト（五十音順）	鈴木　一成 氏	宮崎市議会議長
	鈴木　詠子 氏	埼玉県寄居町議会議員
	本田しずか 氏	鹿児島県議会議員

17:00 閉会

パネルディスカッション1

テーマ　地方議会におけるAIとの付き合い方 ～議員によるAI活用の可能性～



コーディネーター

大屋（おおや） 雄裕（たけひろ） 氏

慶應義塾大学法学部教授

1974年生まれ。東京大学法学部卒。同大学院法学政治学研究科助手、名古屋大学大学院法学研究科助教授・教授を経て2015年から現職。地方制度調査会委員、総務省「ＡＩガバナンス検討会」座長代理などを務める。著書に『法哲学』(共著)『ＡＩと社会と法』(共編)ほか。



パネリスト

茨木（いばらぎ） 雄太（ゆうた） 氏

アンドドット株式会社代表取締役

2017年よりソフトウェアエンジニアとして新規事業開発に従事し、金融・行政・ヘルスケアなど幅広い業界で事業立ち上げを支援。2023年にAX特化のアンドドット株式会社を設立し、350社以上・300自治体以上を支援。総務省自治大学校のDX推進講師、福岡県市町村や名古屋市のDX政策アドバイザーも兼任。



パネリスト

大竹（おおたけ） 清敬（きよのり） 氏

情報通信研究機構 研究センター長

1973年北海道生まれ。豊橋技術科学大学大学院修了後、ATR音声言語コミュニケーション研究所に勤務。2006年より情報通信研究機構。2021年より現職。自然言語処理、音声言語処理の研究に従事。近年は、様々な生成AIを動的・継続的に評価・改善する「能動的評価基盤」の開発に取り組んでいる。



パネリスト

沖（おき） 優子（ゆうこ） 氏

奈良県王寺町議会議員

1999年から王寺町議会議員を務め、現在6期目。その間、厚生環境常任委員会（現：くらし環境常任委員会）委員長をはじめ、各委員会の副委員長や委員などを歴任し、2016年から2023年まで副議長、2023年から2年間議長を務め、現在は議会運営委員会委員長として優れた統率力を発揮。また、議会人としての人望も厚く、町の発展と地方自治の振興に寄与している。



パネリスト

鈴木（すずき） 綾子（あやこ） 氏

江東区議会議員

2011年から江東区議会議員（4期目）。厚生委員長、文教委員長等を歴任。日本最大の政策コンテスト「マニフェスト大賞」実行委員長（第18回・19回）を務める。NTTドコモ在職時には自治体向け法人営業に従事。DX政策を推進。議員活動にAIを活用するほか、地方議員・地方議会向けのAI活用研修の講師も務める。



パネリスト

道端（みちばた） 俊彦（としひこ） 氏

大阪府議会議員

関西大学経済学部卒業。企業経営や中小企業のIT活用支援に携わり、阪南大学客員講師も務める。2016年河内長野市議会議員に初当選。市議3期、副議長、常任委員長、市監査委員等を経て、2024年大阪府議会議員に初当選。民間で培った知見を生かし、生成AIを活用した政策調査や情報発信を実践。議員インターンの受入れを通じた若者の政治参加と次世代育成にも取り組む。

パネルディスカッション2

テーマ　議員活動を考える ～内から外へ～



コーディネーター

田中（たなか） 里沙（りさ） 氏

事業構想大学院大学学長

広報・マーケティングの専門誌「宣伝会議」の編集長、取締役副社長を経て、2016年に地方創生と新規事業の研究及び人材育成を行う、学校法人先端教育機構「事業構想大学院大学」学長に就任。産官学連携による新事業創出、地域活性化活動等を企画・推進する。地方制度調査会委員を務めた。



パネリスト

鈴木（すずき） 一成（いっせい） 氏

宮崎市議会議長

2003年から宮崎市議会議員を務め、現在6期目。その間、議長、議会運営委員会委員長、常任委員会委員長、監査委員等を歴任し、2025年から2度目の議長、宮崎県市議会議長会会長に就任。「市民が見て、参加して、興味を持ってもらえる議会づくり」を掲げ、日々の活動に尽力している。



パネリスト

鈴木（すずき） 詠子（えいこ） 氏

埼玉県寄居町議会議員

寄居町議会議員に平成23年に初当選。現在4期目。平成25年から議会だより編集委員会委員を経て、令和元年、議会広報公聴特別委員会委員長に就任。議会だより編集に13年間携わり、町民の声を地道にコツコツ拾い続けている。編集方針は「読まれない議会だよりに出す意味なし」。議会だよりを「住民自治の窓口」とすべく日々の活動に尽力している。



パネリスト

本田（ほんだ） しずか 氏

鹿児島県議会議員

長崎大学教育学部卒。教員を7年間務めた後、歌声喫茶とイベント企画会社を創業。観光振興や宇宙・文化財・アウトドアを柱とした事業に携わる。2020年「かごしま女性キラリ大賞」受賞。2023年鹿児島県議会議員に初当選。防災にも力を入れ、各種重機運転資格を取得。県民と県政を身近に繋げる「政治の翻訳家」を目指し、精力的に活動中。